



からいしき すえつけ
唐居敷の据付け

位置と高さを合わせ、中央柱の下にあるからいしき(石製)を据付けました。 **この部材です**



おたるき
尾垂木補修 1

割れてしまった箇所へ新材を貼り付け補修しました。

この部材です



どろづき
胴付の角度を45度にして柱の角に合うように加工している。

ありほぞあな
蟻柄穴

かくもくせん
角木栓

おたるき
尾垂木補修 2

柱の角に差さるためこのような形に加工してあります。ありほぞあなが近くにあるため、角木栓を打ち込み補強しました。

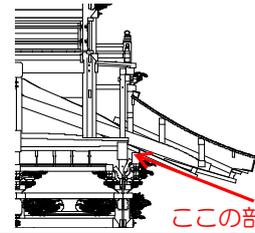
柱に対して45度から差さるため、胴付が斜めに加工してあります。

(木鼻の仮組状況)



がぎょう
丸桁の補修1

倒壊時に割れてしまった丸桁
の端部を新材に置き換え補修
しました。



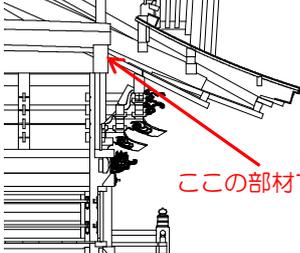
がぎょう
丸桁の補修2

ほとんどの丸桁が同じように割
れていました。



おおけた
上層大桁の補修

倒壊時の割れや欠け、キズを
埋め木や矧木、接着剤貼り付
けを行い補修しました。





新工法の柱の継木^{つぎき}1

残り7本の柱の継木を先月から引き続き行い、継木を予定していた10本の柱、すべての継木を完了しました。

新工法の柱の継木^{つぎき}2

接着剤が固まったものから、接着剤の漏れ防止用のシーリング材をはがしました。



上層隅木の補修状況^{すみぎ}

こやないがつかきほぞ
小屋内部の東に差さる柄が倒壊時に折れてしまったので、新材で新たに作り直しました。車知栓^{しゃちせん}を打ち込み、固定しました。

こちらの部材です



(公募写真)





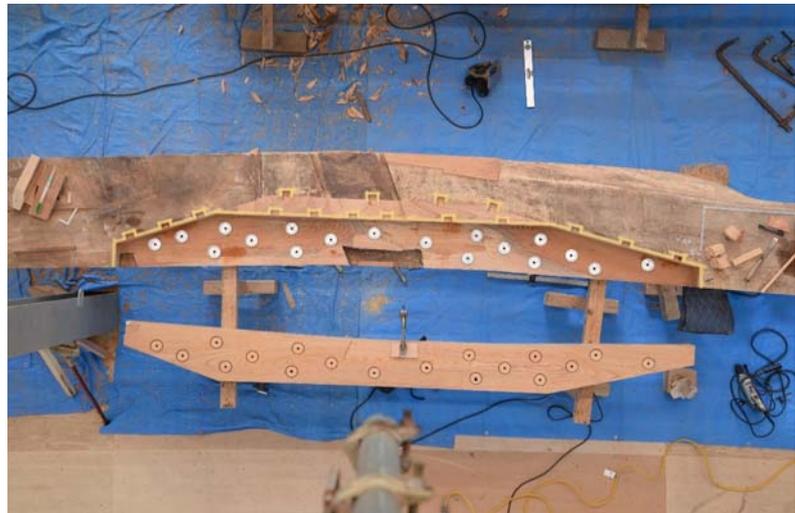
下層隅木補強1

倒壊によって折れてしまった隅木を補強しました。強度が期待できない白太部分を取り除き赤身の新材に置き換えました。

下層隅木補強2

接合前の状態です。置き換えた部材がずれないようにシアプレートという金具を挟み込みました。

シアプレート(鉄)



下層隅木補強3

接着剤を塗って張り合わせ、ボルトで締め付けました。今後は、さらに鋼板を取り付ける補強を行います。

ボルト締め

シアプレート 新材

古材



じふくすえつ
地覆据付け1

じふく そぼん ひかりつ
地覆を礎盤に光付け、据付け
ました。

ここの部材です



じふくすえつ
地覆据付け2

ひかりつ
光付けとは、取付く場所の形を
写し、加工することを言いま
す。

そぼん
礎盤の曲面通りに地覆が加
工され、地覆と礎盤がピシヤリと
据付けられました。



継木を完了した7本の柱



すやね
素屋根内状況

素屋根3階より撮影(1月)。

